

様式第1号 (第6条関係)

協働事業に関する提案書

平成30年4月6日

(宛先) 狭山市長

団体名 さやまビリヤード愛好会
所在地 (事務局)

代表者名 長谷川秀夫

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業
2 事業名	車椅子ビリヤード
3 事業期間	平成30年6月1日 から 平成31年2月28日
4 事業種別	<input type="checkbox"/> 単年度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	¥160,000
6 事業概要 (100字以内)	健康維持は大きな社会貢献である基本理念の基、ハンディキャップのある人と無い人の共生、そして老若男女が楽しみ競い合えるバリアーフリースポーツ・リハビリスポーツ・生涯スポーツであるビリヤードを通じた交流事業
7 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 さやまビリヤード愛好会

1 事業名	車椅子ビリヤード
2 事業の詳細	<p>さやま市民大学での学びの成果を生かす一環としての福祉への推進事業 平成24年(2012年)に実施された「ビリヤード指導者養成コース」受講修了者で組織された「さやまビリヤード愛好会」の目指す一環として車椅子対象者とし、バリアーフリースポーツ・リハビリスポーツ・生涯スポーツであるビリヤードの技術的指導を通じて交流の場を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉の推進増進を図る活動 ・まちづくりの推進を図る活動 ・スポーツの振興を図る活動 ・男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 ・子どもの健全育成を図る活動
3 実施体制	<p>平成24年(2012年)に実施された「ビリヤード指導者養成コース」受講修了者及び同カリキュラム受講修了者で組織された「さやまビリヤード愛好会(25年4月設立)」は、会員数40名弱となり事業として活動・指導できる段階に入った。</p> <p>本会設立の目的を実行する一環としての体制が整っている。</p> <p>会則第2条(目的)</p> <p>【本会は、ビリヤードに係る会員相互の練習と研究を通じて、新たにビリヤードを始めようとする方々(初心者)への案内及び指導も行えるようその技術の研鑽に努めるとともに、もって地域住民の交流の場を提供しさらには健康の維持・増進の一助とすることにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。】</p>
4 役割分担	<p>事業実施についての広報活動 実施に関わる人的及び業務</p> <p>【提案団体の役割】 事業実施に関する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用備品(ビリヤード台、キュー)の保守・管理・補充に伴う経費 ・消耗品的用具(ビリヤード球、キュー・タップ、チョーク等)の経費
	<p>【市の役割】 既存施設(元気プラザA棟3階 教室1)の利用 対象者への広報支援</p>
5 協働の効果	<p>公的福祉事業の位置付けは、参画する障がい者にとって精神的安心感が得られる。対象者へ効果的な広報活動ができる。</p>
6 事業の アピールポイント	<p>ハンディキャップのある人と無い人の共生、そして老若男女が楽しみ競い合えるバリアーフリースポーツ・リハビリスポーツ・生涯スポーツであるビリヤードを通じた交流場となる。</p>